

◇ 第18回 函館市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

・開催日時 令和4年1月19日（水）9：30～10：00

・開催場所 市役所8階大会議室

・内 容 1 開会
2 市内の感染状況等について
3 その他
4 閉会

・出席者 本部長 市長
副本部長 平井副市長
本部員 32名

・議事要旨

1：市内の感染状況等について

（大泉 保健福祉部長）

函館市の発生状況の推移，新規感染者数，年代別感染者数および医療提供体制等の状況について説明

2：感染拡大に伴う対応について

（大泉 保健福祉部長）

感染者の急拡大を踏まえ，市長から感染の予防および注意喚起について動画で発信，大学・短大の事務長に予防徹底を要請，報道による注意喚起，保健所の体制強化など対応を行った。

その他，感染拡大に伴い，改めて各部職員（所管施設の職員も含む）への注意喚起，感染予防の徹底をお願いしたい。また，休憩所・給湯室などでのマスクの着用，つけ方についても再度注意喚起を行っていただくとともに，それぞれ関係する団体等にも改めて周知をお願いしたい。

（工藤 市長）

去年の1月には重症や中等症も多く医療も逼迫していた。今回は，人数は多いが，重症・中等症が少なく，今のところ施設でクラスター等の発生も無く，散発的にあちこちで起きている状況であり，そういう点では昨年と状況が少し違っている。

職員も，体調管理には十分に留意して，体調が悪い場合にはすぐに休んで検査を受けるなど，周りに広げないことを心掛けるよう周知徹底を行っていただきたい。

こういう状況の中で，北海道にはまだまん延防止等重点措置は適用されていないが，入院患者が増えれば適用されることとなるのか。

（大泉 保健福祉部長）

明日か明後日には道の対策本部が開かれて，まん延防止等重点措置を要請すると聞いている。

（工藤 市長）

まん延防止等重点措置が適用された場合，時間制限などの対応が必要となる公共施設等はある

か。

(大泉 保健福祉部長)

今のところは考えていない。

(工藤 市長)

緊急事態宣言が出ればまた別の考えが出るかもしれないが、現状では今までどおりきちんと感染防止対策を指定管理者にとってもらって、継続的にやっていく。

オミクロン株は子どもたちも感染しやすくなっている。既に学級閉鎖等を行っているところはあるか。

(永澤 学校教育部長)

学級閉鎖を1件行っている。1月になってから18名が検査を受けて、2人が陽性という状況である。

(工藤 市長)

病院や高齢者施設の従事者が濃厚接触者になった場合の扱いは。

(大泉 保健福祉部長)

濃厚接触者の待機期間については、国で見直しを検討している。

(工藤 市長)

函病の状況はどのようになっているか。

(桐澤 病院局管理部長)

1月18日からフェーズ2という体制にして、今28床、病床を確保している。

重症が12床、中等症・軽症が16床。16床のうち、今4人軽症の感染者が入院している。

(工藤 市長)

いずれにしても感染が拡大したのは3連休の後となっており、各地からの帰省等によるケースが多くなっている。他地域から函館に持ち込まれ、友達、家庭、職場へといった感染の連鎖を止めるように何とか考えていかなければならない。感染者の人数も増えて、保健所も追いかけていけなくなっていく。市民や各施設、学校、保育園、高齢者施設、病院等に改めてまた注意喚起をお願いしたい。

(平井 副市長)

首都圏などでは陽性者の検査、通知が全く追いついていない状況である。職務での会合や出張については、必要性をきちんと判断してほしい。また、会食自体を出来るだけ避けるということ徹底していただきたい。

さっぽろ雪まつりも中止の決断がされたところであるが、まん延防止等重点措置が2月13日

まで適用されることが想定される中、それまでの期間のイベント等については注意をするとともに、感染経路についていろいろな事例が出ている中、マスクの着用について改めて職員のみなさんに徹底していただきたい。

3：新型コロナワクチンの3回目接種の予約受付等について

(大泉 保健福祉部長)

3回目接種の前倒し、および予約状況等について説明。

現在、WEB予約のモデルナ接種会場に多くの空きがある状況であり、更なる積極的な接種の検討をお願いしたい。